

I 調査の概要

1. 調査目的

加古川市総合計画（計画期間：令和3年度から令和8年度まで）に掲げた施策に対する市民の満足度と重要度などの意識を調査することにより、総合計画の進行管理を行うとともに、今後の施策展開に活用することを目的に実施した。

2. 調査設計

調査対象：加古川市在住の満18歳以上の市民の中から6,000人
（住民基本台帳から無作為抽出）

調査方法：紙の調査票及びオンライン調査票による

50歳未満の市民3,600人へオンライン調査票へアクセス可能なQRコード等を記載した案内文を、50歳以上の市民2,400人へ紙の調査票を郵送配布（50歳未満の市民のうち、希望者には紙の調査票を別途送付）

なお、紙の調査票にはオンライン調査票へアクセス可能なQRコード等を記載

調査期間：令和4年(2022年)11月16日（水）から令和4年(2022年)12月7日（水）まで

調査項目：・回答者の属性

- ・定住意向とまちに対する誇りや愛着について
- ・「心ゆたかな暮らし」について
- ・加古川市が取り組んでいる施策（満足度・重要度）について
- ・「防災」及び「防犯」対策への取組について
- ・子育てと仕事に関することについて
- ・協働のまちづくりについて
- ・市政などに関する情報について
- ・その他について
- ・自由意見

3. 回収状況

配布数	回収数	有効回答率
6,000人	2,147人	35.8%

4. 報告書の見方

- ① 図表上の「n」は、設問に対する回答者数（number of case）のことである。
- ② 回答比率（%）は回答者数（n）を100%として算出している。小数点以下第2位を四捨五入しており、内訳の合計が計に一致しないことがある。
- ③ 図表上の「MA%」（Multiple Answerの略）や「3LA%」（3 Limited Answerの略）という表示は、複数回答形式の設問（回答選択肢の中から「あてはまるものをすべて」や「あてはまるもの3つまで」を選択する形式の設問）であり、複数の回答を求める設問では、回答比率（%）の計は100.0%を超える。
- ④ 本文中にある前回調査とは「令和3年度 市民意識調査」を指している。
- ⑤ 回答者の属性及び加古川市の取組等の認知度を除き、「わからない」、「不明・無回答」を除いて集計している。